令和５年度学校だより

善誘館

No.８

甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

２０２３．１１．１６

☆「できなくても当たり前」☆

ひと昔前（およそ１５年から２０年ほど前），家庭にあって学校にだけないものの代表的なものといえば，教室のエアコン，洋式トイレ，液晶テレビなどがあげられます。今ではおかげさまで善誘館（市内の）小学校ではすべて完備しています。では逆に，家庭ではあまり使われないけれど学校では当たり前のように普通に使っているものといえば何が思い浮かぶでしょうか？私が思いつくものでは，たとえば毎日の教室の掃除の時間に子供たちが使うほうきがあります。家庭に帰ってから子供たちは，掃除機を使うことがあっても，ほうきを使って掃除をすることは少ないでしょう。大人でも正しいほうきの使い方を知らない人はたくさんいると思います。また，子供たちが家庭で雑巾がけをすることもほとんどないかと思います。ですから学校では，１年生の時に雑巾を絞る練習から始めます。次に思いつくのは，理科の実験の時にアルコールランプなどに火をつけるときに使うマッチです。家庭では，ガスレンジはもちろんのこと，ＩＨヒーターもずいぶんと使われ，炎自体を見る経験も少なくなってきているかもしれません。小学校では，私が担任をしていた頃には４年生の理科の時間に初めてマッチを使用していました。しかしながら現在の小学校の理科の教科書ではアルコールランプから，実験でカセットコンロを使用することが多くなり，必要がなければ，子供たちは中学校まで理科の授業の中でマッチをする機会がなくなってしまいました。 ひと昔前とは違って，マッチを使って火をつける場面があった時には，ほとんどの子供が初めてマッチを手にすると思ってマッチのすり方の安全指導をする必要があります。**（善誘館小学校では４年生でアルコールランプの使い方も学びます）**子供にとっては，できなくても当たり前のことなのです。子供にとって，できなくても当たり前のことはたくさんあります。私たち大人と違って経験が少ないのですから当然のことです。さて，子供たちがすぐにはできないことにぶつかったとき，私たち大人はどのように接していけばよいでしょうか。前述したほうきや雑巾の使い方やマッチのすり方であれば，大人がていねいに手本を見せることが一番有効だと思います。しかしながら，今すぐに手本を示すことができないこともたくさんあります。それは，結果がすぐに目で見えないものであったり，その成果を数字で表すことが難しかったりすることです。大人として一番よくないのは，子供のことを日頃ほったらかしにしておいて，勝手なときだけ非難することだと思います。子供にとって，経験のないことは，できなくても当たり前なのです。では，大人が手本をすぐに示すことができないときには何が必要なのか・・・。それは，「ほめて，励まして，そして時にはおだてること」だと思います。正直言ってこれは大人にとって忍耐が必要なことでもあります。学校でも，御家庭でもたくさん子供たちをほめてあげませんか！もちろん安全にかかわることであったり，人を傷つけてしまったりしたときには，毅然とした態度で子供を指導することを大前提にしてのお話です。保護者の皆様や地域の皆様の御協力，よろしくお願いいたします。

◎校長雑感　～「待つ」こと～

私が学級担任の頃，尊敬する先生から，「授業では，『間』が大切だ」と教えていただきました。「常に教師が子供に語りかけてはいけない。物事を考えるときには，意図的な意味のある**「間」**や**「沈黙」が必要だ。**」と教室から一瞬音が消える。これが，子供にはより一層深い思考をするようになるのだと。子供たちがじっくり考えて，それが表出されるまで**「待つ」**ことだそうです。

教師という職業上，我が子をみると，いろいろなことをついロを出したくなってしまいます。勉強や

遊び，普段の生活の中でも，急かしていたり，先を見通したことを言ってしまったりします。大人は，経験上どうあるべきかを知っているため，子供に先に伝えてしまいます。もしかして，もう少し「待つ」ことができれば，**ぼー**っとしているように見えるときも，その時間が子供にとって大切な考える時間だったのではないかと。さらに，世の中に目を向けると，待てない時代となっていると思います。例えば，メールや電話等が発達していて，いつでも待たずに連絡や情報が手に入ります。メールを送ったのに，すぐ返事がないとイライラしてしまうことはないでしょうか。新しいものをいち早く情報を入れたい思いから，情報がなかったり，進展がなかったりすると不安で仕方がない。「待つ」ことがマイナスに捉えられているように思います。

３年間のコロナ禍の中，じっと**「待つ」**ことを続けた子供たちです。その蓄えた力が，必ず発揮される時がやってきます。いまの時期をプラスに捉え，どのように成長をするかを待って楽しむことが今，子育て，教育には必要であるように思います。

第61回甲府市小学校陸上運動記録測定会　大活躍！！

運動会が終わってから，取り組みを始めた「陸上運動記録測定会」が１０月１８日に実施されました。６年生は，自分の参加種目を決めて「自己ベスト」を目指して一生懸命練習してきました。当日は「緑が丘のグラウンド」で精一杯のパフォーマンスを披露してくれました。思ったような結果を出すことができた子供，残念ながら思い通りにいかなかった子供…。一人一人は違いますが，小学校のよい思い出の一つになったことでしょう。

ここでは６位以内に入賞した選手を紹介しますが，精一杯頑張った６年生全員に拍手です(^_^)

【男子】６０mH	１０秒６５	丸山　出	【女子】６０m走	９秒８１	矢﨑　莉子
ボール投げ	５７m９２cm	林　龍之介	走り幅跳び	３m１８cm	平澤　美佳
			走り高跳び	１m１０cm	花房　彩芽

学校の様子より

☆「はんこ（篆刻）づくり」（４年生）☆

４年生が社会科の「地域の文化のよさを伝えよう」学習の一環として，「山梨県印章店協同組合」の望月様，二宮様を講師に招き山梨県の伝統工芸である「はんこ（篆刻）づくり」を学びました。

この「山梨県印章店協同組合」では，山梨県の地場産業である印章業者の協力を得ながら県内の学校へ印章に関わる「体験学習」を行っていただいています。４年生は講師の先生から「荒彫り」→「彫り」→「仕上げ」の工程を教えてもらいながら，一生懸命作っていました。初めの頃は，「印刀」の使い方に戸惑っていましたが，講師の方々の熱心な御指導のおかげで世界に一つだけの作品ができました。作った「篆刻（はんこ）」はこれから，習字や連絡帳，手紙やノートなどに自分作品や持ち物であることの証として使用されることでしょう。（私も昔作った「篆刻（はんこ）」まだ大切に使っています）

☆「おもちゃランドへようこそ」（２年生）☆

２年生が，生活科の学習で「おもちゃランドへようこそ」の学習を行いました。この学習では，身近にあるものを使って遊びに使うものを工夫して作ったり，遊び方を考えたりする中で遊びを創りだすことのおもしろさに気付き，夢中になって楽しく活動することをねらいとしています。

今回グループで協力しながらアイディアを出し合い，世界に一つしかない「おもしろいおもちゃ」を造りました。１１月８日（水）の２校時には，１年生をお招きしてつくったおもちゃを使い，「おもちゃランド」を開催し，３・４校時からは親子活動の一環として，保護者をお招きして親子で楽しみました。（保護者の皆様は親子活動終了後，給食試食会も行いました）

少しお兄さんお姉さんになった２年生。張り切って準備をしました。生活科の時間に作ったおもちゃで１年生と仲良く遊びました。

２年生の目標「みんなが　楽しく　えがおになる　かつどう」は大・大・大成功でした。２年生のみなさん！がんばりましたネ(^_^)